（様式第１号）

観光関連施設立地計画申請書

令和　　年　　月　　日

 北九州市担当部局課長

申請者（事業者）

住所

氏名（法人の場合は名称及び代表者の氏名）

※建物の賃貸借等の場合は、所有者と連名で記載

　「北九州市地域資源を活用した持続可能な観光推進計画」にかかる観光関連施設の立地に関する実施要領第３条の規定に基づき、本申請書を提出します。

１　事業者名および事業所所在地

|  |  |
| --- | --- |
| 事業者名（法人の場合は名称及び代表者名） |  |
| 事業所所在地 |  |
| 連絡先 | 担当者：電話：E-mail： |

２　建築物等の概要　※□は該当する箇所に「✓」を記載

|  |  |
| --- | --- |
| 立地予定地 | 北九州市 |
| 建築物用途 |  |
| 区分 | □自己所有　　　　□賃借 |
| 敷地面積 | 　　　　　　　　　　㎡ |
| 延べ床面積 | 　　　　　　　　　　㎡ |
| 道路（幅員） | 公道・市道（幅員）　　　　　　　ｍ |

【添付書類】

・予定地の位置図（近隣の状況等が分かるもの）、字図、登記事項証明書（登記簿謄本）

・現地写真（予定地とその周辺の状況が分かるもの）

３　事業概要等

（１）事業種別　※該当する項目の「□」に「✓」を記載

|  |  |
| --- | --- |
| 観光関連施設 | 事業内容（複数該当可） |
| □　飲食店□　農林水産物等直売所□　宿泊施設□　体験施設□　公衆浴場□　展望台・休憩所□　レジャー・スポーツ教室□　土産物店□　駐車場□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　） | □　地域の食を活用する事業・地域の産業（農業・漁業等）と連携する事業　（収穫体験・漁業体験等サービス含む）□　地域の景観を活用する事業・自然景観・環境を体感する滞在型事業□　地域の自然と直接触れ合う事業・自然を活用したアクティビティ体験する事業□　地域の観光資源を活用した事業の活性化に伴う事業・地域における農林水産物、歴史・文化資源、自然景観などを活用し、観光客の満足度や利便性の向上につながる事業 |

（２）事業概要

ア　どのような地域資源を活用し、どのようなターゲットを対象とした事業を実施するのか。

（記入例）

・地域のブランド力のある農産物〇〇を取り入れ、若年層をターゲットにした創作系レストラン。

・景観に活かしたデザイン性の高い上質な空間と地域のブランド食材を活用した新鮮な食を提供し、地域観光の拠点となる時間消費型の宿泊施設。

イ　その他、コンセプト、事業実施の内容、雇用計画、ＰＲポイント、建築物のイメージ図、構想等を自由記載もしくは別紙添付

（記入例）

・飲食店のコンセプト

・地元農産物の仕入れ方法

・想定するターゲット層へのアプローチ方法など

ウ　当該地域で事業を実施する必要性

（記入例）

・当該地は四季により様々な魅力を演出する景色を持ち、また地域の新鮮な食材を生かす立地として必要不可欠である。

エ　周囲との調和

※地域住民等への配慮、自然との共生・調和など観光地としての考えかたを自由に記載。

（３）事業実施により期待できる効果

（記入例）

・地域の観光資源である〇〇を活かし、知らせることで地域の魅力を向上させ観光客の呼び込みにつなげる。

・地域の観光資源である〇〇を用いた商品を開発・販売することで、地域の魅力を向上させ、集客促進、また観光客の満足度の向上につなげる。

（４）事業実施スケジュール（開発行為等の手続き完了後から、事業開始まで）

　（記入例）

・〇年〇月　土地造成等開始

・〇年〇月　建築開始

・〇年〇月　建築完了

・〇年〇月　開業

（５）特記事項

　【北九州市開発審査会審査基準但し書に該当する場合は必要性等を記載】

　（記入例）

・予定建築物の敷地規模が１，０００㎡を超えるが、現地の観光資源を活用し、より多数の観光客を迎え入れるため、敷地全体を活用し事業を展開するために必要である。